



きよせ市議会だより

平成十五年度の 決算を認定

平成16年
第4回定例会

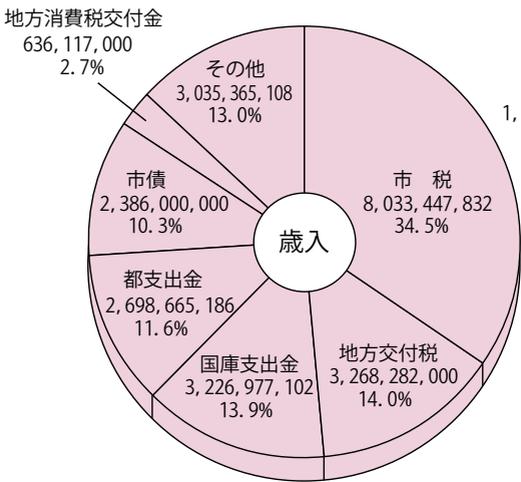


金山緑地公園の日本水仙

平成十六年清瀬市議会第四回定例会は、十二月六日(月)から二十一日(火)までの十六日間の会期で開催しました。
今定例会では、平成十五年度清瀬市一般会計決算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、受託水道事業の各特別会計決算に関する議案の他、市長提出議案(補正予算・条例等)十七件、議員提出議案(意見書等)十七件、市民の皆様から提出された請願・陳情六件を審議しました。
なお、平成十五年度清瀬市一般会計決算及び各特別会計決算に関する議案は、十一月に開催した決算特別委員会及び所管の常任委員会において、それぞれ審査が終わっていることから第四回定例会の初日に、委員長の審査報告を受け、採決を行った結果、平成十五年度決算はいずれも認定されました。

款別決算額比較表(図表)

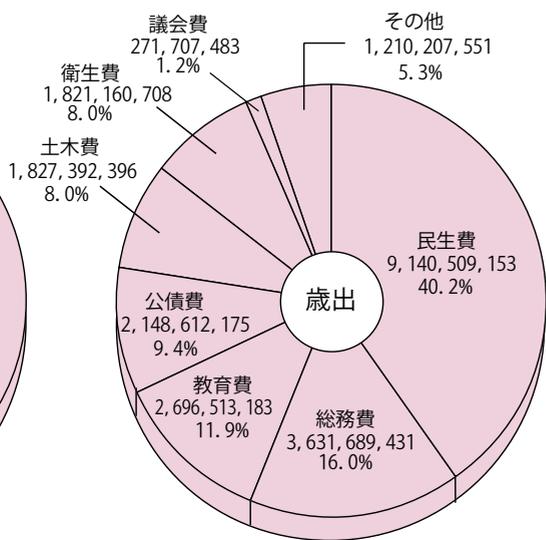
○歳入



歳入決算額 23,284,854,228円

○歳出

(単位:円)



歳出決算額 22,747,792,080円

決算のあらまし

平成十五年度清瀬市一般会計の決算は、歳入決算額三三二億八四八五万四二二八円、歳出決算額二二七億四七七九万二〇八〇円で、決算残額五億三三〇六万二二四八八円の内、繰越明許費繰越額二三〇万円を除く、五億三三〇六万二二四八八円が翌年度への実質繰越額となり、昨年度に比べ一億六二八七万七七八七円の増額となっています。
また、標準財政規模に対する実質収支額の割合である実質収支比率についても、前年が二・九%ですので、一・六ポイント上回る四・五%となっています。
歳入の決算額は、予算現額に対し三億一四二万二七七二円の減額となりますが、予算に対する収入率は、九八・七%と、前年度より一・〇ポイント上回っています。また、歳出の決算額は、予算現額に対して九六・四%の支出率となり、前年度より一・四ポイント上回っています。

一般会計歳入歳出決算内訳

平成十五年 一般会計決算討論要旨

反対討論 日本共産党

懸案事項であった四中の規模改修や中里一丁目の緑地の公有地化など、市民の要求が実現したことは評価するものです。しかし、高齢者や障害者に対する予算や、子どもたちにかかわる学校施設整備予算などが減額され、さらにけやき幼稚園の廃園条例が強行されたことは厳しく批判するものです。
福祉、教育、商工、農業でも現金給付型事業が行われて

賛成討論 民主クラブ

平成十五年度決算は、第2次行革の成果を引継ぎ、第3次行革の門出にふさわしい内容であった。市民協働元年として、まちづくり委員会、市民活動センターが設置された。行政情報の電子化、公共施設のネットワーク整備が進み、住基ネットの運用も開始された。農業散布軽減型ハウスの建設、「元気を出せ商店街事業」の拡大、市民要望の高かった5リットルの有料指

賛成討論 公明党

当時、我が国経済は「デフレスパイラル」の危機に直面し、産業の空洞化や財政赤字の解消等が課題になっていた。長期的には経験したことのない少子高齢化等の事態にも直面し、社会保障システムの改革も課題となっていた。
このような諸情勢の中、清瀬市は職員の大規模削減、補助金のカット、受益者負担の適正化等に取り組み、行財政改革の効果を着実にさせた。し

かし、依然として続く厳しい財政状況を打開すべく、第3次行財政改革をスタートさせた。また、市民参加を保障するまちづくり基本条例の制定や市民活動センターの具体化等の取り組み、行政評価制度やオンブズマン制度の導入、高度情報化や学校施設の整備改修等、市政の透明化や信頼性を高めるとともに、社会情勢に的確に対応した運営を評価し、賛成討論とします。